

議題（3）平成24年度事業報告及び収支決算について

1. 平成24年度地域公共交通活性化協議会事業報告

（1）会議の開催

○協議会

- ・平成24年6月1日～平成25年3月28日まで6回開催

○分科会

【市民部会】

- ・平成24年7月12日～平成25年2月12日まで7回開催

【専門部会】

- ・平成24年10月18日～平成25年2月18日まで3回開催

（2）事業の実施又は指示

○別紙1のとおり

事業・指示事業実施結果一覧表

重点施策		実施・指示別	相手方	事業費(円)			実施結果	
				協議会負担	事業者負担	合計		
オレンジゆずるバス交通の整備	オレンジゆずるバスの運行【リーディング事業】	バス停設置	実施	阪急バス(株)	2,372,580	0	2,372,580	・本格運行に向けたバス停標柱の埋め込み ⇒府道 21 本、市道 21 本
		実証運行	実施	阪急バス(株)	82,707,118	0	82,707,118	・平成24年度の運行状況 ⇒輸送人員 平均 1,108 人/日(需要予測 906 人/日) ⇒収支率 37.4%(目標値 50%)
		評価・見直し	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	9,870,000	0	9,870,000	・OD 調査(6 月の 2 日間) ⇒ 配布数 2,050 枚、回収率 99.3% ・市民アンケート調査(8 月) ⇒ 配布数 2,000、回収率 50.7% ・バス利用者アンケート(8 月の 2 日間) ⇒ 配布数 1,517、回収率 51.7%
路線バスとオレンジゆずるバスとの連携	路線バスとの共通利用 (バス停の共通化、カードシステムの共通化)	実施	阪急バス(株)	—	—	—	・阪急バスICカード hanica を共通利用	
公共交通の利用促進	主要なバス停でベンチ・上屋の設置	実施	—	事務費(25,861)	—	—	・箕面警察前、桜井駅、稲ふれあいセンターにベンチを設置 ⇒利便性の向上をはかる	
	運行情報の提供 (バスロケーションシステムの変更等)	実施	阪急バス(株)	884,140	0	884,140	・車載搭載端末の更新等	
	バスマップの作成等	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	3,957,450	0	3,957,450	・本格運行と新たな実証運行に情報更新 ⇒認知度:運賃 75.6%、最寄りのバス停 69.0%、ルート・行き先 44.6%、誰でも乗れる 82.9%	
	モビリティ・マネジメント(MM)の実施	指示	大阪大学	2,940,000	0	2,940,000	・大阪大学と市民有志によるオレンジゆずるバスの利用促進を考える情報交換会を開催(24 回) ・絵画募集を行い、市役所ロビー等で展示(72 作品) ⇒ 市民へのPR効果促進 ・バスコミュニケーション誌の企画、編集、印刷、配布等 ⇒情報誌の発行でオレンジゆずるバスや箕面市の魅力をPR	
	住民主体の公共交通への利用啓発運動	指示	箕面如意谷住宅自治会	—	—	—	・箕面如意谷住宅自治会 情報誌に 2 回掲載(約 600 世帯に配布)、本格運行に向けたA3版ポスターの作成等 ⇒自治会内に周知し、利用者数が増加	
	商業施設等のホームページ・チラシにバス情報の掲載	指示	—	—	—	—	・ヴィソラのホームページにエコショッピング制度、オレンジゆずるバスの情報を掲載 ⇒バスの利用を促進	
	エコショッピング制度の導入	指示	—	—	—	—	・ヴィソラと連携:2000 円以上の買い物で帰りに回数券を進呈(利用枚数:1,628 枚) ・きんとん治療院と連携:ケア・治療費の割引、帰りの回数券を進呈(利用枚数:2 枚)	
その他	箕面まつりとの連携	実施	㈱セレスポ大阪支店	事務費(63,000)	—	—	・箕面まつりの際に、専用ブースを設置し、チラシ、うちわ(2,000 枚)などを配布 ⇒オレンジゆずるバスの認知率の向上	
	バス車内電子看板設置	実施	(株)ケイ・オブティコム	1,639,260	0	1,639,260	・バス車内に電子掲示板を設置 ⇒市政・観光情報、バス情報を提供し、バス利用を促進	
				104,370,548	0	104,370,548		

2. 平成24年度地域公共交通活性化協議会収支決算

(1) 収入

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	現計予算額	決算額	説 明
1 負担金	1,126,000		1,126,000	1,126,000	箕面市
2 補助金	148,738,000	-14,823,000	133,915,000	104,369,000	箕面市補助金 (社会資本整備総合事業費補助金 :国交付金+市負担) ・実証運行経費、利用促進等
3 繰越金	0	331,908	331,908	331,908	
4 雑入	0	0	0	264	預金利子
合 計	149,864,000	-14,491,092	135,372,908	105,827,172	

(2) 支出

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正予算額	現計予算額	決算額	説 明
1 会議費	256,000	0	256,000	139,000	学識経験者委員謝礼、会場使用料等
2 事務費	870,000	0	870,000	405,361	郵便代、高齢者運賃割引証発行、事務用品購入等
3 事業費	148,738,000	-14,823,000	133,915,000	104,370,548	・事業実施委託料(実証運行、バス停設置等) ・事業指示負担金(利用促進等)
4 予備費	0	331,908	331,908	0	
合 計	149,864,000	-14,491,092	135,372,908	104,914,909	

(3) 収支

収入合計 105,827,172 円

支出合計 104,914,909 円

収支残額 912,263 円

収支残額912,263円は、平成25年度に繰越す。

3. 平成24年度予算の繰越状況

(1) 収入

(単位:円)

科目	繰越予定額	繰越額	説明
補助金	34,780,000	29,446,000	・箕面市補助金

(2) 支出

(単位:円)

科目	繰越予定額	繰越額	説明
事業費	34,780,000	29,446,000	5月20日以降の本格運行に向けた準備 ・一日乗車券発券器設置業務 ・バス標柱時刻表変更業務等

平成25年6月24日

監 査 報 告 書

箕面市地域公共交通活性化協議会
会 長 伊 藤 哲 夫 様

箕面市地域公共交通活性化協議会
監 事 清 田 栄 紀
監 事 松 出 末 生

平成25年6月24日、箕面市地域創造部会議室において、平成24年度箕面市地域公共交通活性化協議会の収支決算書及び関係書類等を監査したところ、監査に付された決算、書類等は正確でありましたので報告します。

なお、監査の結果、下記のとおり監査意見を総括いたします。

記

〈現状分析〉

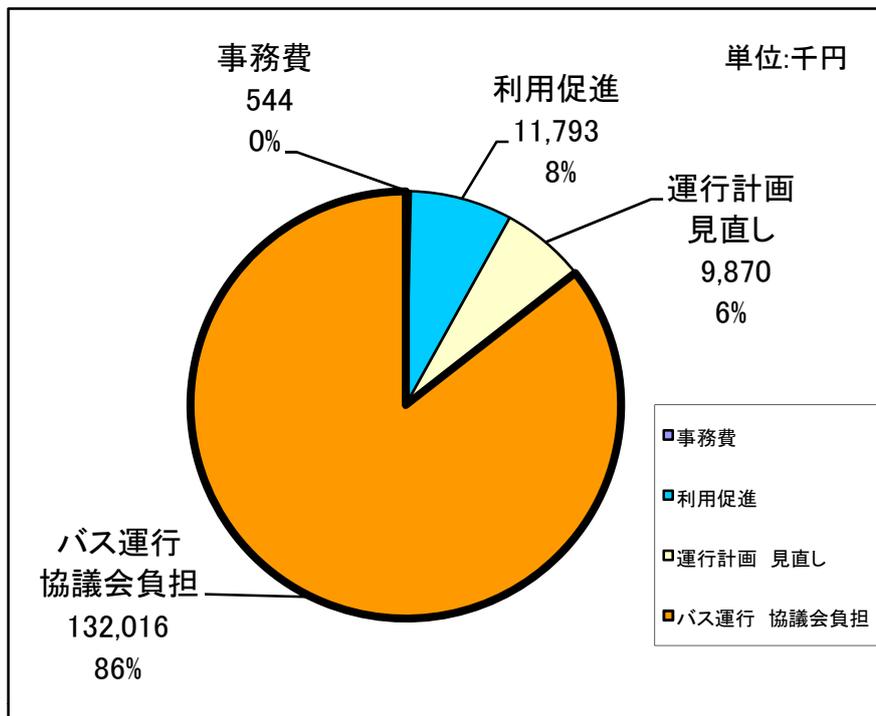
1. 支出の内訳としては、バスの運行経費が86%をしめており、年間経費としては少なくとも132百万円かかっている。
2. 実証運行経費に定める料金収入の割合は平成23年度より6%向上し、国市の負担は、約62%となっており約83百万円となる。

〈意 見〉

1. オレンジゆずるバスは、高齢者や障害者に対して割引運賃を適用している。また、公共交通機関が走っていないところを走っているなどの交通弱者対策の観点もあるため、ある程度の税の投入は必要と考えるが、料金収入と市負担金の割合を50%、50%にするよう引き続き、経費の圧縮と運賃収入の増加をはかる必要がある。
2. 利用促進については、料金収入が現状より増加するように今後も効果的な利用促進の実施に努める必要がある。

以上

A. 平成24年度事業費【バス運行協議会負担＋その他経費＝154,223千円】



B. 実証運行経費【132,016千円】

内訳 { 協議会負担(国+市)82,708千円 (62%)
 国 : 55%
 市 : 45%
 料金収入 49,308千円 (38%)

